

- ① 開催年月日 令和5年1月26日 14:00～16:00
- ② 開催場所 宇治商工会議所(京都府宇治市宇治琵琶45番地の13)議員講話室
- ③ 委員の出席 委員総数 7名
出席委員数 6名
放送事業者側出席者名 局次長

④ 議題

(1) Zoom Up 金曜日「まちかどヴォイス」コーナー、フリートーク

(2) 報告事項

パーソナリティ変更について

2月3日の特別番組「久御山町青少年の主張発表会」について

- ⑤ 議事の概要 落ち着いた声で聴きやすかったが、説明不足で内容を把握しにくい部分があった。
子どもたちの意見を交えた番組は新鮮でおもしろかった。インタビューをするにあたり、リスナー側の立場になり、何を聞きたいか、どんな情報を発信するべきかを考えコミュニティ放送らしさを出して欲しいなどの意見が多数出された。

⑥ 審議内容

局次長 月曜日から金曜日の16時50分から17時50分に放送中のZoomUpの番組コーナー、まちかどヴォイスについて審議をお願い致します。

10月から新たに金曜日の枠を担当している新人パーソナリティです。

まちかどヴォイスのコーナーは、放送日に行われるイベントなどを取材し、インタビューを交え

放送しています。本日聴いて頂くのは、宇治市立岡屋小学4年生が参加した「SDGs世界同時授業」、第99回箱根駅伝にて駒沢大学の選手として総合優勝に貢献した城陽市出身の赤星雄斗選手の「表敬訪問」の様子です。

～ 同 録 ～

委員 全体的に上手で話し慣れている様子ですね。ラジオ経験はこれまでにされていたのですか。

局次長 ケーブルテレビでのキャリアがありアナウンスも安定しています。

委員長 小学校の授業のレポート内容ですが、具体性が少ないと感じました。世界とつながるオンライン授業でしたが、例えば言語は何語で話していたのか、どんな会話を交わされたのかインタビューだけでは伝えきれない部分を、パーソナリティが補足してほしいと感じた。

委員 授業を通じた児童達の感想は興味深かったです。普通は言葉に詰まったりするのですが、しっかりと話されおり驚きました。

委員 生徒の目線に立ったインタビューが出来ていたと感じました。

委員 授業の中では難しいかもしれませんが、子どもらしさを感じられるやり方として、多人数の中から面白いコメントをピックアップして放送で使ってみてもいいかもしれませんね。

委員 表敬訪問のレポートですが、赤星さんが城陽とどういう関係があるのかを、もう少し丁寧に紹介して欲しかった。コミュニティ放送のインタビューや取材は、出来るだけ地元に関連付けられる情報を

聞き出すようにしてほしいです。例えば、出身校でも小中学校まで聞き、当時のエピソードなども紹介してみるなど。

委員 インタビューをするにあたり、FMうじのリスナーは、何を聞きたいか、どんな情報を発信してほしいかを考えてみるのもいいですね。取材を通じてでしか知り得ないポイントとかを。

委員 箱根駅伝に地元の選手が活躍していたというトピックだけでも話題性はあると思います。赤星選手に限らず、放送を通じ、いい形で色んな人を応援できる様に出来ればいいですね。

委員 優しいお声でとても聴きやすかったので、これから地元のことを勉強し、一つのトピックに対してただ事実を読み上げるのではなく、自分の意見、経験、他の人から聞く話を盛り込んだりすると内容に深みが出るのではないのでしょうか。今後に期待しています。